

地域医療振興協会／ファイザー 公募型医学教育プロジェクト助成

地域格差を是正する為の医療 提供体制の効率化・最適化を 推進する取り組み

外部有識者審査プロセス

本公募の概略

医療従事者の地域偏在がある中、医療従事者の労働時間の短縮と地域医療提供体制の両立が求められており、医療体制の効率化・最適化の推進が、地域格差の是正のためにも重要視されています。本公募では、医療における地域格差を是正するためのプロジェクトを支援します。

対象国

日本

対象疾患 / 目的

- 循環器疾患、がん疾患
- 地域格差を是正するための医療提供体制の効率化・最適化を目的とした、以下のようなプロジェクトを支援の対象としますが、この限りではありません
 - ◇ 多職種連携の推進による医療提供体制の最適化に取り組むプロジェクト
 - ◇ 限りある医療資源を有効的に活用することで、医療体制の効率化・最適化を推進するプロジェクト
 - ◇ ICTなどのテクノロジーを活用した医療従事者の負担軽減と効率化に取り組むプロジェクト

締切日等 スケジュール

- 公募締切日: 2023年6月30日
- 審査結果通知: 2023年9月
- 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2024年1月1日

助成額 / プロジェクト実行期間

- プロジェクト1件あたりの上限額: 3,000,000円
- プロジェクト実行期間: 2024年1月1日 ~ 2025年12月31日 (最長2年間)

I. 応募資格

対象国:

- 日本

申請団体要件:

- 以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。
 - 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
 - 医療系の学会・研究会等
 - 医療系の財団法人、NPO 法人など(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など)
 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会
- 他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。
- 応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日:

- 2023年5月10日

公募対象疾患:

- 循環器疾患、がん疾患

本公募の目的:

本公募は、

- ① 医学的・科学的知識を実践にうまく活かせていない
- ② 医学的・科学的知識を実践に活かしてはいるものの結果や成果が伴わない

という状況を改善するため、医療従事者の行動の変容を促すようなプロジェクトを支援するものです。

下記の「プロジェクトの対象者」における、地域格差を是正するための医療提供体制の効率化・最適化を目的とした、以下のようなプロジェクトを支援の対象としますが、この限りではありません。

- 多職種連携の推進による医療提供体制の最適化に取り組むプロジェクト
- 限りある医療資源を有効的に活用することで、医療体制の効率化・最適化を推進するプロジェクト
- ICTなどのテクノロジーを活用した医療従事者の負担軽減と効率化に取り組むプロジェクト

注意事項: 臨床試験(介入／非介入)、非臨床試験、疫学研究、レジストリー構築等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

プロジェクトの対象者:

- 地域医療に関わる医療従事者(医療・看護・介護を担う団体、自治体等に所属する者)

本公募の背景:

- 労働環境の不安等から医師をはじめとして看護師、薬剤師、介護士等の医療従事者の地域偏在が生じている。^{#1}
- 厚生労働省の医師偏在対策や地域医療構想、へき地医療への取り組み等の対策が講じられているが、問題の解決に至るまでには引き続き様々な対策が必要である。^{#1}
- 医師の確保とともに、労働時間短縮と地域医療提供体制を両立することが求められている。^{#2}
- 生産年齢人口の減少が加速することを踏まえると、必要なサービスを創出していく取組を続ける一方で、限りある人材等で増大する医療・介護ニーズを支えていくため、医療・介護提供体制の最適化や効率化を図っていくという視点も重要である。^{#3}
- 人口構成の変化や医療・介護需要の動向は地域ごとに異なることから、医療及び介護の総合的な確保を進めていくためには、地域の創意工夫を活かせる柔軟な仕組みを目指すことが必要である。^{#3}

関連する通知・方針等:

- 令和4年度厚生労働白書^{#1}
- 第8次医療計画等に関する意見のとりまとめ^{#2}
- 地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針^{#3}
- 現行制度の下での実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について^{#4}
- 医療分野の情報化の推進について^{#5}
- 医療・介護・健康分野の情報化推進^{#6}

現状課題:

- 質の高い医療の提供や効率化を図る観点から、情報通信技術(ICT)の活用や、医療分野のデジタル化を推進していくことが求められている。^{#2}
- 医師の労働時間の短縮を進めるために、現行制度下で実施可能な範囲において、医師業務のうち、医師以外の医療関係職種が実施可能な業務について、タスク・シフト/シェアの推進が求められている^{#4}
- 医療の質や安全が確保され、持続可能な形で提供されるよう、労務管理の徹底や労働時間の短縮を通じて医師の健康を確保する医師の働き方改革を進めていくとともに、各職種がそれぞれの高い専門性を十分に発揮するための勤務環境の整備や、タスク・シフト/シェアが図られ、医療従事者がチームとして医療現場を支える仕組みが構築される必要がある。^{#3}
- 生産年齢人口が急減していく中で、サービスの質を確保しつつ、テクノロジーも活用し、従事者の負担軽減が図られた医療・介護の現場を実現していくことが求められる。^{#3}

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額: 3,000,000円
- 助成額には、直接費及び施設へのオーバーヘッド(間接費用、上限28%)を含むことができます。
- 助成額は、外部有識者等による審査会にて決定されます。

締切日等スケジュール:

- 公募開始日: 2023年5月10日
- 公募締切日: 2023年6月30日 (アメリカ東部時間)
- 審査結果通知: 2023年9月
- 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。
- 助成金を使用したプロジェクトの実行: 最長2年間 (2024年1月1日~2025年12月31日)
- 助成金は、助成契約の締結後、また、IRB/IEC や当局の承認が必要な場合はその承認記録を提出いただいた後に、提供されます。

申請方法:

- 以下の URL をクリックし、オンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。
www.cybergrants.com/pfizer/QI
- 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。
- 申請に際しては、こちらの[申請の手引き](#)をご参照ください。
 - “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には **必ず Yes** を選択してください。
 - Competitive Grant Program Name の選択では、“2023 GMG JP: JADECOR Regional Disparities QI” を選択してください。
 - Primary Area of Interest の選択では” Support for Profession/Professionals” を選択してください。
- 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、Page 5 の「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書 (Letter of Request/Agenda/Project Description) を作成しシステム内にアップロードしてください。
プロジェクト申請書 (Letter Of Request/Agenda/Project Description) のみ日本語での記載が可能です。
- **注意事項:** 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー MEG-J事務局
meg.japan@pfizer.com
お問い合わせの際、件名に、今回の公募タイトル「地域格差を是正する為の医療提供体制の効率化・最適化を推進する取り組み」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#)をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体 (法務部門を含む) がこれらの条件を順守できることを確認してください。
- 助成金は、申請施設に提供されます。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、地域医療振興協会が選定する外有識者を中心とした審査委員会によって最終的な助成の決定がなされます。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます(中間報告)。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容(プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど)に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。
- 採択施設(団体)はプロジェクトの概要を地域医療振興協会が主催する会合にて発表して頂きます。

リファレンス:

- #1: [令和4年度厚生労働省白書](#)
- #2: [第8次医療計画等に関する意見のとりまとめ](#)
- #3: [地域における医療及び介護を総合的に確保する為の基本的な方針](#)
- #4: [現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について](#)
- #5: [医療分野の情報化の推進について](#)
- #6: [医療・介護・健康分野の情報化推進](#)

地域医療振興協会・ファイザー Global Medical Grants について

地域医療振興協会は、全国のへき地を中心とした地域保健医療の調査研究及び地域医学知識の啓蒙と普及を行うとともに、地域保健医療の確保と質の向上等住民福祉の増進を図り、もって、地域の振興に寄与することを目的とし、以下の事業を行っている。

1. 医学生へのへき地医療研修活動の指導
2. へき地医療における診療活動基準の研究と確立
3. 総合医の確立及び養成
4. 医療情報の提供
5. 地域保健医療に関する研究会及び講習会の開催
6. へき地等に勤務する医師等の職業紹介及び派遣
7. 関係行政機関との連絡、調整
8. 会報・会誌の発行
9. へき地等に勤務する医師の確保等へき地等の医療(介護を含む。)を支援する病院等の開設及び運営管理の受託
10. 前号の病院等と連携し又は同病院等を運営する上で必要とする児童のための社会福祉事業の実施
11. へき地等の医療を支援する病院等に勤務する看護師等を養成するための学校の設置、運営等の事業
12. その他前条の目的を達成するために必要な事業

ファイザー Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内で行なわれる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“プラクティスギャップ”・“クオリティギャップ”を埋めることができるようなプロジェクトの立案をしてください。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

プロジェクト申請書様式

表紙にはプロジェクトタイトル、作成日及びバージョンを記載してください。本申請書は、日本語での記載が可能です。

プロジェクトの背景・目的

- プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。
- 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

プロジェクトのニーズ評価

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況（プロジェクト対象者のレベルなど）をふまえ、記載してください。（定量的データがあれば望ましい）

プロジェクトの対象者

- プロジェクトの主な対象者を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

プロジェクトプラン・スケジュール

- プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
- プロジェクトの詳細なスケジュールを記載してください。（表形式が望ましい）

地域格差の是正に向けた取り組み

- 医療における地域格差を是正するために、本プロジェクトがどのような役割を担うか記載してください。

プロジェクトの評価・結果の測定

- プラクティスギャップ／クオリティギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。
 - 判定に使用するデータソース
 - データの収集・分析方法
 - 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。（例：ベースラインから10%上昇する）

プロジェクトの画期性

- プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや申請プロジェクトに先駆けて実施した（もしくは進行中の）プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

プロジェクト終了後の展開

- プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。

次頁へ続く

その他プロジェクトに関する追加情報

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

申請団体・プロジェクトメンバー

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- プロジェクトメンバーを記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。

予算明細

- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。費用の明細を記載ください。(表形式が望ましい)
ただし、弊社からの助成金は**以下費目には使用できません**。
 - 個人費用(懇親会費などの飲食費用、プロジェクト対象者の参加費・交通宿泊費など)
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など)、医薬品、テキスト・教科書の購入
 - プロジェクトメンバーの人件費(給与・謝礼)
 - プロジェクトメンバーが知識習得のために参加する学会等への参加費・交通宿泊費
- 施設へのオーバーヘッド(間接費用)は、プロジェクト費用の28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。
- 消費税込で記載してください。